

信愛之友

特集 訪問看護

社会福祉法人 信愛報恩会 2018年 秋号 AUTUMN No.643

「地域包括ケア連携のかなめ・訪問看護ステーション」

信愛報恩会理事長 桑名 齊



信愛病院は1981年、「東久留米市寝たきり老人訪問看護指導」を、1983年には「清瀬市訪問看護指導事業」をスタートしました。当時、高齢化が進むなかで、急性期治療（多くは脳血管疾患）のあとのリハビリテーションを受けても自宅退院にいたるまでの回復が見込めない患者さんが、入院の多数を占めておりました。また、外来に通っていた患者さんが加齢とともに通院困難になってしまう状況で、入院でも自宅でも「寝たきり老人をつくらぬ」をモットーに解決策を模索していたなか、国は高齢者医療の一つの打開策として「訪問看護」という手段を重要視したのです。つまり、今でいう在宅医療へのシフトです。その後、福祉系でも特別養護老人ホームだけではなく、デイサービスや介護支援センターなどを設置して、在宅ケアへのシフトが進みました。冒頭の訪問看護指導事業が在宅医療とケアに有効であったことから、1992年に訪問看護ステーションが制度化されました。医療に関連する事業主は医師と限られていたのですが、この訪問看護ステーションの責任者は看護師であり、看護師が単独で立ち上げることができるという画期的なものでした。訪問看護の指示書は医師が書くという前提ではありませんが、医師の命令がなくても仕事ができるという制度になったことで、各地に多くの訪問看護ステーションが立ち上がり

ました。信愛病院には約10年という十分な経験がありましたので早速申請し、1994年10月から導入しました。そして、名称は職員の応募の中から「ほほえみ」に決めました。1991年から開始していた医師の訪問診療と連携して、信愛病院の在宅医療の基礎ができあがったのです。新しい試みには困難がつきものです。初めての訪問看護を希望する職員は少なく、さらに、運転中の事故の責任や保証の問題など、解決しなければならぬ点がいくつかありました。訪問可能な地域は清瀬市、東村山市、東久留米市、新座市、所沢市などに限定し、近場や車が入れない道路のためには自転車やバイクも購入しました。この他にもいくつかの課題はありました。社会的に次第に認知されるようになったことや、訪問リハビリも可能になり、さらに介護保険による訪問看護もできるようになって、希望する患者さんが増えてきたことから、現在の大規模訪問看護ステーションを目指す時代になったのです。

こうした経緯から、地域包括ケアを推進するにあたって連携のかなめとなるものは地域包括支援センターとケアマネジャー、そして訪問看護ステーションなのであります。



特集



訪問看護

訪問看護制度の概要

訪問看護は、1992年に在宅で寝たきりの高齢者を対象に開設されましたが、その後、保険制度の改正により、在宅療養を行っている難病患者・重度障害者・末期がん患者など、すべての年齢の療養者や介護保険で要介護・要支援と認定された方々も利用することが可能になりました。さらに、2012年からは、医療ニーズのある要介護者を支える「看護小規模多機能型居宅介護」が整備され、訪問看護・訪問介護・通い・泊まりの4つのサービスを受けながら、住み慣れた家で暮らし続ける支援が可能となりました。

あなたのほほえみのために

訪問看護師は、ご家庭を訪問して、主治医と連絡をとりながら病状を観察したり、床ずれの手当てなど医学的管理に基づいたサービスを提供したり、症状や日常生活障害の維持改善、あるいは安らかな看取りを支援します。

ご利用できる方は、寝たきり、寝たきりに近い状態、認知症など介護の必要な方、通院が困難な方、在宅生活に不安のある方、リハビリの必要な方、最期をご家庭で迎えたい方などです。

当訪問看護ステーションでは、月約180名の方にご利用をいただいています。



24時間365日安心を支える

通常は、平日の8時45分から17時15分の間に、1回あたり30分から90分で訪問をしています。必要に応じて、24時間緊急訪問ができる体制をとっていますので、医療機器をつけた方も、安心して生活ができるようサポートをします。また、がん末期や終末期でも、住み慣れた家で最期まで過ごせるように、医師と連携し、疼痛管理や症状緩和、心のケアも行い、ご家族とともに看取りを行います。



当訪問看護ステーションは、約30の診療所や病院との連携をとっています。自宅への退院支援や医療と介護の橋渡しし、ご自宅以外でのご利用も可能です。

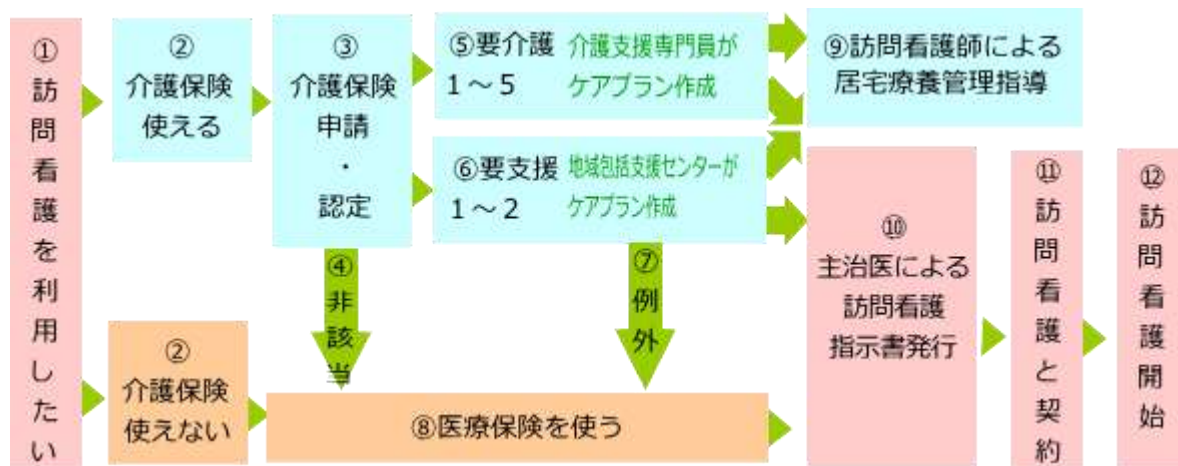
リハビリスタッフも訪問

訪問看護師も健康管理、低栄養や運動機能低下を防ぐアドバイスなど、介護予防や機能回復のお手伝いをします。

当訪問看護ステーションでは、理学療法士・言語聴覚士による訪問リハビリテーションにも力をいれています。機能訓練、福祉用具の選定、住環境整備の助言、拘縮予防や機能の回復、嚥下機能訓練を行います。



訪問看護ステーションの利用までの流れ



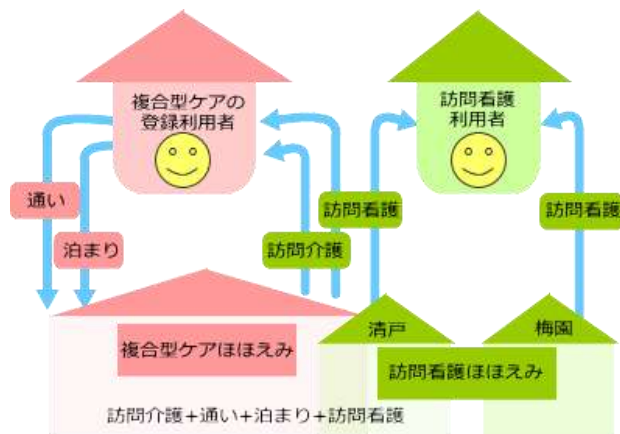
訪問看護を利用するには

訪問看護は、医療保険や介護保険で受けることができます。
 申込は、信愛訪問看護ステーションほほえみ、またはかかりつけ医、居宅介護支援事業所まで直接ご連絡ください。

介護保険の場合は、ケアプラン作成が必要になり、プランの中に訪問看護が組み込まれます。介護保険サービスを受けていても、急に症状が悪化した場合などは、医療保険を利用することもあります。医療保険の場合は、主治医による訪問看護指示書が必要です。

訪問看護の利用料金は、介護保険では、自己負担1〜2割、医療保険では1〜3割です。その他ご利用される方の状態に応じて別途加算や自費負担が生じる場合があります。生活保護、難病医療費助成など各受給者証も利用できます。制度については、複雑ですので、お気軽にご相談ください。

複合型ほほえみと居宅ほほえみ



2014年に清瀬市下清戸に「しんあい清戸の里」が開設され、同建物内に信愛訪問看護ステーションほほえみが移転しました。信愛病院内にあるステーションはサテライトという形で残り、フットワーク良く、訪問看護を行うことができるようになりました。更に、看護小規模多機能型居宅介護「複合型ケアほほえみ」も開設いたしました。このサービスは、清瀬市では初めての試みで、「訪問看護」「訪問介護」「通い(デイ)」「泊まり(ショート)」の4つのサービス

訪問看護ステーションほほえみ

- ① 清瀬市下清戸 1丁目 305番 1号 (ステーション)
- ② 清瀬市梅園 2丁目 5番 9号 信愛病院建物内 (サテライト)
- ① TEL 042-493-5686 FAX 042-495-8298
- ② TEL 042-495-8276 FAX 042-495-8298
- ◆ 複合型ケア ほほえみ TEL 042-493-5685
- ◆ しんあい居宅介護支援事業所 ほほえみ TEL 042-494-7676

を行いますので、ご利用者のニーズにあわせて、様々なケアを展開することができず（詳しくは信愛の友633号の特集参照※バックナンバーは信愛報恩会ホームページからご覧いただけます）。
 また、2018年3月より、しんあい居宅介護支援事業所ほほえみも開設し、しんあい清戸の里でのケアプラン作成も可能となりました。
 今後も様々なサービスを提供しながら、在宅生活をサポートしていきたいと思っています。「家で過ごしたい」と思ったら、お気軽にご相談ください。



～ 共に歩む～

このページでは、信愛報恩会のスタッフやボランティアさんをご紹介していきたいと思
います。今回はほほえみ（訪問看護・複合・居宅）のスタッフをご紹介します。



所長 上村貴代美

私たち訪問看護師は、病気や障害があっても、医療機器を使用しながらでも、住み慣
れた自宅で暮らせるよう、療養生活を見守り、専門職として支援いたします。また、そ
の方に合ったより良い在宅サービスが受けられるよう、地域の病院や福祉介護サービス
と幅広く連携をとることを心掛けています。

信愛訪問看護ステーションほほえみは、スタッフ一同、プロ意識と熱意を持って、ご
利用者の皆様からほほえみが引き出せるような看護を提供していきたいと思っていま
す。



ミーティングの様子

信愛訪問看護ステーションほほえみ

- 看護師 常勤 4名、非常勤 8名
(認定訪問看護師、介護支援専門員の資格を有する)
- 理学療法士(信愛病院兼務) 4名
- 言語聴覚療法士 1名

年齢や疾患問わず、あらゆる利用者の方に安心して
信頼されるサービスを提供することが私達の使命
だと考えています。

複合型ケアほほえみ

- 管理者 1名
- 看護師 7名
(訪問看護ステーションほほえみ看護師含む)
- 介護支援専門員 1名
- 介護士(非常勤含む) 15名

「第2のおうち」をコンセプトに医療処置のある方、
介護度の重い方もその人らしく生活できることを心
がけています。



しんあい居宅介護支援事業所ほほえみ

- 管理者 1名
- 介護支援専門員 1名

複合施設である「しんあい清戸の里」に加わった
新しい事業所です。訪問看護と連携して迅速に対
応できるケアマネ事業所です。





信愛報恩会お知らせ

第 38 回信愛バザーを開催しました。

第 38 回信愛バザーのお天気は曇り時々雨でしたが、会場は南国と思うくらいの、熱気ムードでした。多くの皆様にご協力を頂きありがとうございました。

(バザー寄付は、次号ご報告を致します。)

AUTUMN IS THE ARTS

しんあいアートフェスタ 2018

期間: 10月22日(月)~10月27日(土)

場所: しんあいふれあいホール

(信愛デイケアセンター2階)

信愛のぞみの郷「あったか祭」

日時: 11月25日(日) 10:00~12:30

内容: 模擬店(のしもち・おしるこ・焼き鳥・豚汁等)
子供の広場(ゲーム大会・駄菓子屋)、抽選会、
手芸倶楽部コーナー 展示販売

イベント: ハーモニカ隊・プロの紙芝居など



信愛病院 介護療養型病棟 (F病棟) 改修工事のお知らせ

厚生労働省の打ち出した療養病床再編の波を受け、F病棟 34 床を、介護療養型病棟から医療療養型病棟及び回復期リハビリテーション病棟へ転換することになりました。改修工事の期間は、平成 30 年 10 月より 12 月上旬までを予定しております。

工事期間中は使用できる病床数が減る事から、病棟移動をお願いする場合がございます。対象となる患者様につきましては、個別にご説明させていただきます。また、浴室やトイレ、談話室などの利用も一時的にできなくなる場合もございます。

なお、可能な限り、騒音・振動を抑えるよう努めますが、患者様ならびにご家族の皆様には、ご不便とご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。

人事異動報告

「きよせ信愛地域包括支援センター」

7月23日付 センター長に遠藤志のぶが就任



高世秀仁 Dr の



病気とうまくつきあう

本日のテーマは

「リハビリテーション」

◇リハビリテーションとは？

リハビリテーションをご存知ですか。よくケガをしたあとや脳卒中のあと、手術のあとにリハビリテーションを行って元気になった話を聞いたりします。今回はリハビリテーションのことをお話します。

リハビリテーションの語源はラテン語で、re（再び）+ habilis（適した）で「本来あるべき状態への回復」などの意味です。リハビリテーションはケガや病気で不自由になった身体に訓練や工夫などを行い、楽な生活ができるように応援する活動になります。

具体的には、ケガや手術で動きが悪くなった手や足に対して、マッサージをしたり、訓練をして動きを良くしたり、脳卒中で話せなくなった時は話せるように訓練したり、不自由な身体でも器具を使うことで家の生活ができるようにしたり、精神的な障害の時はレクリエーションや手工芸などの活動を通じてサポートしたりすることです。

◇リハビリテーションに関わる人たち

そのためには、いろいろな職種の人たちが関わっています。リハビリテーションに関わる人たちは大きく分けて3つあります。1つは「理学療法」です。理学療法は起き上がる、立ちあがる、歩くなど、日常生活に必要な基本動作ができるように歩行練習などの運動療法をおこない、日常生活ができるようにします。2つめは「作業療法」です。作業療法は入浴や食事など日常生活の動作や、手工芸やレクリエーションなど、活動を通して、身体と心のリハビリテーションをおこないます。3つめは「言語聴覚療法」です。言語聴覚療法は話すこと、食べること、飲み込む事に対する困りごとに対して訓練、指導、支援をおこないます。それぞれの専門家とっしよに、その人に適切なリハビリテーションが行われます。

物忘れが多くなってきた

食事のときにむせやすくなった

病気によって、日常生活が不便になった

転びやすくなって家にいる機会が増えた

リハビリスタッフのサポート

理学療法 (Physical Therapy : PT)



作業療法 (Occupational Therapy : OT)



言語聴覚療法

(Speech-Hearing-Language Therapy : ST)



◇リハビリテーションは日々の努力が重要

リハビリテーションは1~2日で終わるものではありません。専門家がやってくれるものでもありません。病院の中でしかできないものでもありません。自分自身が、日々の生活のなかで続けていく必要があります。専門家と共に歩いていきます。

◇リハビリテーションの目的

リハビリテーションは身体や心の失われた機能や弱った機能の回復を目指して生活を助けることですが、リハビリテーションの本当の目的は、障害や病気で失われた「その人の生きる力」や「その人の誇り」や「その人の笑顔」を取り戻すことにあります。リハビリテーションにおける回復は、元に戻るのではなくて、自分に合った新しい生活めざして回復し続けることです。

さあ私たちと一緒に新しい生活を作り続けましょう。



100年時代を生きる



「好きな“ホン”は、人生の伴走者・・・」

私は毎日、片道約1時間電車に乗って通勤しています。朝早いのと混み合う方向が逆なため、ゆっくり座って読書三昧に耽ることが出来ます。これが私にとっての「至福の時間(とき)」。大げさに言えば、徒歩や自転車で通勤可能な距離ならばこの時間が持てず、私の日々の満足度はガクンと下がってしまうことでしょう。後半人生を楽しむために、私にとって「ホンをじっくり読める」ということは絶対価値なのです。100年人生の充実には欠かせない、と同様に考える人は決して少なくないと思われま

す。多くは文庫本か新書、時にはハードカバーをとり混ぜ、カバンには常時5~6冊。その日、その時の気分で読みたいホンは変わりますが、傾向ははっきりしています。「藤沢周平」、「葉室麟」、「宇江佐真理」らの時代もの(あゝ、皆亡くなってしまいました・・・)、「柚月裕子」、「篠田節子」、「宮本輝」らの現代もの、「佐々木譲」や「今野敏」らの警察もの、「半藤一利」らの歴史ノンフィクションものなどを手にとります。

私にとって「良いホン」「名作」といえるのは、何度も読み返しができて、その都度、豊かな気分にしてくれるもの。先に挙げた作者の時代小説は、何回読んだか覚えていないほどです。

また、映画好きな私が繰り返し読み返すジャンルに、「映画」に関するエッセイがあります。「小林信彦」や「川本三郎」が好みですが、名作と言われる往年の日欧米映画の数々についてだけでなく、近年のアイドルシネマまで丹念に観て評してくれるのです。「川本三郎」は映画とその周辺、たとえば名作の舞台となった場所やロケ地などを鉄道で訪ね、往時を偲ばせてくれます。私も、実際に彼が辿ったルートで一人旅を楽しんだことがあり、ホンが誘う世界が広がっていくのです。

ここに述べたホンの数々があれば、私はたとえ無人島にひとりとり残されても、退屈しないでしょう(飢え死にしてしまうかもしれませんが・・・)。

鏡 勉 (信愛報恩会常務理事/認知症予防専門士)

Music Therapy



私たちの財産、それは私たちの頭の中にある
A.W.モーツァルト

本日の音楽利用法は、「**音楽と記憶**」



① 音楽でタイムスリップ

子供のころや青春時代の音楽を聴いて、昔を思い出す体験は誰にでもあると思います。音楽は、記憶だけでなく、その時の感情ともつながっており、一瞬にして記憶がよみがえります。

曲を選ぶ時に、幸せな時に聴いた音楽を選んでみてはどうでしょうか? 当時の幸せ気分を、時を超えて味わうことができます。

② 認知症と音楽療法

認知症は、残念ながら色々な機能が失われる病気です。記憶や言葉などが失われていく中、音楽や音楽を楽しむ力は、認知症が進んでも保たれていることが多くあります。

家族の顔を忘れた方も、昔の童謡や唱歌を歌えたり、リズムに楽器をならすことができます。漠然とした不安の中、「できる」体験をしながら音楽を楽しむことは、不安の軽減となり、自分らしく生きるための援助となります。2014年に「パーソナル・ソング」という映画にもなりましたが、私たちの頭の中にある音楽は、記憶と共に、深く心に刻まれ、「ギフト」となります。

北川 美歩 (信愛報恩会 音楽療法士)



「長崎教会群が 世界遺産に登録されて」

牧師 竹前 治

わたしは世の終わりまで、
いつもあなたがたと共にいる。」
(マタイによる福音書28:20)

今年の6月であったと思いますが、ユネスコの世界遺産に長崎の教会群が登録されました。長崎を拠点にして1549年にフランシスコ・サビエルによって日本にキリスト教が伝えられました。長崎においても宣教師によってキリスト教が伝えられましたが、迫害が起こり、多くのキリシタンが殉教したり、また、隠れキリシタンとして信仰の道

「礼拝のご案内」

主日礼拝 日曜日
○信愛病院 外来ロビー
9:20~
○教会礼拝堂 10:30~

正午礼拝 木曜日
○教会礼拝堂 12:35~
※礼拝はどなたでも
参加できます。



を守りぬいた人たちがいたのです。その信仰と祈りの結晶が教会として残り、今もなおその信仰が受け継がれています。その信仰と祈りが世界遺産に登録されたことは喜びであります。しかし、登録されて観光客が増えるだけでは何の意味もありません。それは信仰の継承といえないからです。多くの人が教会を見、すごいなで終わるのではなく、キリシタンの信仰と出会い、神様の愛を知っていたければと心から祈るものです。

チャプレンだより

先日、信愛病院が協力している「がんカフェ」にて、笑い療法士さんによる「笑い」のレクチャーを受けました。常日頃、「笑い」「笑顔」の大切さを思う私は「笑い療法士」というそんな素敵な資格があるのかと驚きました。大阪で育った私は子どもの頃から人を笑わせることが好きでしたが、人生の荒波と共にいつのまにかその感性が弱まってしまい、反省です。

聖書に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」(1テサロニケ5:16、18)とあります。このみ言葉を実行するということも自然に笑顔でいられることに気が付かれます。私たちがいつも喜んで祈り感謝し、笑顔でいることを神様は望んで下さっているのですね。

「その人といると、いつのまにか笑っている…それが笑い療法士です。」とのことでした。チャプレンといると、いつのまにか笑っている…そのようなチャプレンにならないかとほんわかと考えていました。



チャプレン
今村 愛喜

編集
後記

信望愛

最近、仕事から遠隔診療・IoT(物のインターネット)・ロボット・AI(人工知能)などを勉強しています。すでに我が家では、外出先から掃除ロボットを動かしたり、家の状況を知ることができるようになりました。我が家の血圧計や体重計からは、データがスマートフォンに保存されます。目覚ましは、「7時に起して」というだけでよくまりました。電子お薬手帳も活用はじめてみました。やっぱり、使ってみるととても便利です。職場では、ロボット君がデータ入力してくれます。子供たちは、VR(バーチャルリアリティ)で世界中を旅したり、天体を学んだり、新しいツールをいとも簡単に使いこなします。

これから、どんなテクノロジーが開発されるのか創造するだけでもワクワクします。「信望の友」もAIが書いてくれる時代がきたりして・・・

(北川)

社会福祉法人
信愛報恩会

〒204-0024
東京都清瀬市梅園 2-5-9
TEL 042-433-4300
FAX 042-433-4301
honbuad@shin-ai.or.jp

編集発行人：鏡 勉
信望の友編集委員会
次号は、1月後半予定